

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-290077

(P2004-290077A)

(43) 公開日 平成16年10月21日(2004. 10. 21)

(51) Int. Cl.⁷

A01K 85/00

F1

A01K 85/00 301A

テーマコード(参考)

2B107

審査請求 未請求 請求項の数 4 OL (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願2003-86697 (P2003-86697)
 (22) 出願日 平成15年3月27日(2003. 3. 27)

(71) 出願人 501133742
 中島 鐵夫
 東京都品川区西大井5-17-17
 (74) 代理人 100069475
 弁理士 横田 実久
 (72) 発明者 中島 鐵夫
 東京都品川区西大井5-17-17
 Fターム(参考) 2B107 BA04 BA12 BA22

(54) 【発明の名称】 いか釣針

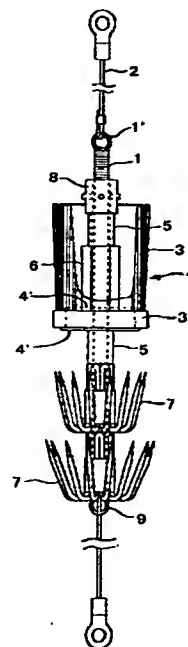
(57) 【要約】

【課題】 いか釣漁業に使用するいか釣針における擬餌体を改善していかの誘致作用を効率よく行いその釣獲効率を向上する。

【解決手段】 倒傘状の釣針7・7を装着したいか釣針のコイルスプリングからなる軸部材1に、ナイロン等の合成樹脂、金属等の糸条3からなる有底円筒状のブラシ4を装着して、いか釣時のシャクリ操作時における水流、水圧を利用してブラシ4の開口部を内外に拡開揺動するようにして、生き餌の動きのように見せかけいかの誘致作用を確実にする。

【選択図】

図1



【特許請求の範囲】

【請求項1】

釣針を設けた軸部材にその周囲を囲繞するように糸条を断面略環状に植設したブラシを装着したことを特徴とするいか釣針。

【請求項2】

ブラシを有底円筒状に形成したことを特徴とする請求項1記載のいか釣針。

【請求項3】

ブラシを釣針の周囲に設けて釣針を隠蔽したことを特徴とする請求項1又は2何れか記載のいか釣針。

【請求項4】

互に開口部が反対の方向の一对のブラシを軸部材に装着したことを特徴とする請求項1又は3何れか記載のいか釣針。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はいか釣漁業に使用するいか釣針の改良に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来のいか釣漁業は古くから合成樹脂、金属、動物の骨角等からなる擬餌体の下部に1乃至複数の倒傘状の釣針を装着したいか釣針を釣糸で多数直列状に連結し、擬餌体によっていかを誘導して倒傘状の釣針で釣獲しているのが現状である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながらこのような擬餌体の色調、輝度だけに頼っている従来の方式ではいかの誘致作用を効率よく行うことが充分ではないと共に擬餌体によっていか釣針が大型又は重量化し取扱いが面倒である等の欠陥がある。

【0004】

これらの現状に鑑み、本発明はいか釣針における擬餌部を改善して、その水中におけるいかの誘致機能を能率よく行って釣獲能率の向上を図ると共にいか釣針自体の軽量コンパクト化を可能にするようにしたいか釣針を提供することを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明は前記目的を達成するために、釣針を設けた軸部材にその周囲を囲繞するように糸条を断面略環状に植設したブラシを装着したことを特徴とするものであり、ブラシの内外に作用する海中の水流水圧によってブラシの口縁部が拡開揺動する動的動きが恰も生き餌のような形態を現出して従来の誘致作用を更に一層促進してその釣獲効率を向上するようにしたものである。

【0006】

しかして前記ブラシは有底の円筒状、楕円状、円錐状等に形成して軸部材に装着するのが好適であり、特にブラシを釣針の外側に装着して釣針を隠蔽し釣針を露出せしめないようにするといかに警戒感を与えないと共にいか釣針の長大化を防止して漁具の小型軽量化を図ることができる。

【0007】

また一对の円筒状ブラシの開口部を対向又は反対方向に向けて軸部材に装着するときは、シャクリ操作によって一对のブラシの開口部は交互に水流、水圧によって内外方に拡開揺動して一層誘致機能を向上することができ、更にブラシを形成する糸条としては、ナイロン、PVC、PP等の合成樹脂、ピアノ線等の金属線等の径0.2mm～0.5mm、長さ3mm～150mmの所要の屈撓性のあるものをいかの種類、漁況等の状況に合わせてそのまま又は適宜色調に染色して使用するものである。

【0008】

なお本発明における対象とするいかの種類は主としてあかい、そでい、とびい、やりい、するめい、まい等が考えられ、特にあかい、そでい等の大型のいかの場合においては釣針を複数設けるのが好ましい。

【0009】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を図面の実施例について説明すると、コイルスプリングからなる軸部材1の上端に設けた取付リング1'には釣糸2が連結されており、該コイルスプリングの軸部材1の外側にはナイロンその他の糸条3・・を環状取付板3'に植設した環状断面のブラシ4が挟着円板4'・4'によって嵌合支持されると共に該挟着円板4'・4'の上下部にはカラー筒5・5及び擬餌体6が夫々嵌合装着され、前記下部のカラー筒5の下部における軸部材1には倒傘状の釣針7・7が装着されており、さらに上部カラー5の上部には固定筒8が、軸部材1の下部取付リングには釣針7の脱落防止リング9が夫々設けられている。

10

【0010】

本発明の実施例は上記のように構成されているので、このいか釣針を釣糸2で直列に適数個連結して海中に沈下してシャクリ操作等の釣作業を行うと、いか釣針の沈降時にはブラシ4の糸条3・・の上方開口部部分は水流、水圧で縮小揺動し、また釣糸の上昇時にはブラシ4の内底部の挟着円板4'に作用する水圧で開口部は外方に拡開揺動して恰も生きた餌のように動揺していかを誘致するものである。

【0011】

図3に示す実施例は、ブラシ4を釣針7の周囲に位置するように軸部材であるコイルスプリング1に装着したものであり、このようにすると釣針7を隠蔽することができ、いかの警戒感を解消していかの誘集作用を一層効率よく行うことができると共にいか釣針の長さも短縮できる。

20

【0012】

図4に示す実施例は、釣針7・7の周囲に位置するように設けたブラシ4・4をその開口部が対向するように装着したものであり、いか釣針を上方にシャクリ上げるときは下部のブラシ4の口縁部が水圧で外方に拡開し、下方に沈下するときには上部ブラシ4の口縁部が外方に拡開して交互に揺動作用を行い誘集作用をより効率化したものであり、この場合もいか釣針の長さも短縮化と軽量化を図ることができる。

30

【0013】

なお前記実施例においてブラシ4は複数設けることも、また一部又は複数の釣針7の外側に設けることも可能であり、更に前記軸部材1を屈撓かつ伸縮性のあるコイルスプリングで形成するときはいか釣針の捲上げドラム及び案内ローラーに対する馴致性が向上し捲上げ作用並びに案内作用時におけるいかの傘状釣針からの脱落を防止すると同時にいか釣針同士による纏絡を防止することができる。

【0014】

【発明の効果】

本発明はいか釣針の軸部材に糸条を断面略環状に植設したブラシを装着していか釣時のシャクリ操作による水流、水圧を利用してブラシの開口部を内外に拡開揺動せしめて生き餌のように動的に変動するようにしたので、従来の単なる色調、輝度によるだけの誘致作用に比しいかの誘致機能を一層効率よく行い釣獲効率を向上でき、いか釣漁業の省力化を図ることができる。

40

【0015】

また本発明はブラシを釣針の周囲に設けたときには、いか釣針の短縮化と同時に釣針の隠蔽も可能となり一層誘集作用の効率化を図ることができる。

【0016】

更に本発明の一对のブラシの開口部を反対向きに形成して装着したときには、シャクリ操作の上下動作の夫々を対応して一对のブラシの開口部を同時かつ交互に内外に揺動して変動作用の効率よく行い、一層擬餌誘集効果を発揮することができる。

50

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一部切欠正面図。

【図 2】 本発明要部の縦断正面図。

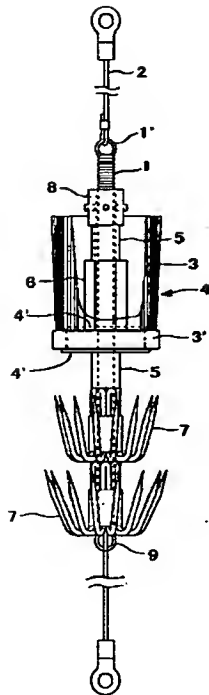
【図 3】 本発明の第 2 実施例の一部切欠正面図。

【図 4】 本発明の更に他の実施例の一部切欠正面図。

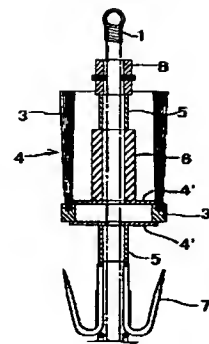
【符号の説明】

- 1 軸部材
- 3 糸条
- 4 ブラシ
- 7 釣針

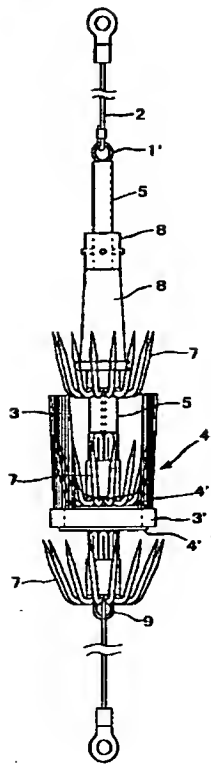
【図 1】



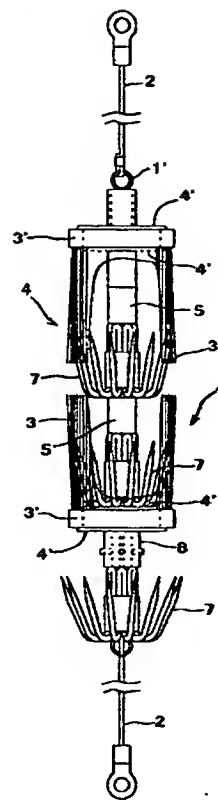
【図 2】



【図 3】



【図 4】



PAT-NO: JP02004290077A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2004290077 A
TITLE: SQUID HOOK
PUBN-DATE: October 21, 2004

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NAKAJIMA, TETSUO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
NAKAJIMA TETSUO	N/A


APPL-NO: JP2003086697
APPL-DATE: March 27, 2003

INT-CL (IPC): A01K085/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve fishing efficiency of squid by improving a lure in a squid hook used in squid fishing and efficiently performing squid attracting action.

SOLUTION: A bottomed cylindrical brush 4 composed of a thread 3 of a synthetic resin such as nylon, a metal, etc., is attached to a shaft member 1 made of a hook coil spring fixed to an inverted umbrella-like hooks 7/7, the opening part of the brush 4 is widened and swung inside and outside by using a water flow and water pressure in vertically swinging operation during squid fishing and the hook looks like having the movement of a live bait so as to secure squid attracting action.



COPYRIGHT: (C) 2005, JPO&NCIPI